

地区の概要

- 事業名: 農業競争力強化農地整備事業
- 地区名: 古関地区
- 受益面積: A=24.8ha
- 総事業費: 1,111百万円
- 工期: R3~R8
- 関係市町村: 川崎町
- 土地改良区: 川崎町土地改良区
- 導入作物予定: 水稲、そば、たまねぎ等
- 地区の特徴・PRポイント
 - ・法人に農地を集積、集落営農で次世代に継承
 - ・そば、たまねぎ、水稲の輪作による農地の高度利用
 - ・さつまいもの導入により若手農業者を取り込み

県内位置図

- 位置 しばたぐんかわさきまち
宮城県柴田郡川崎町



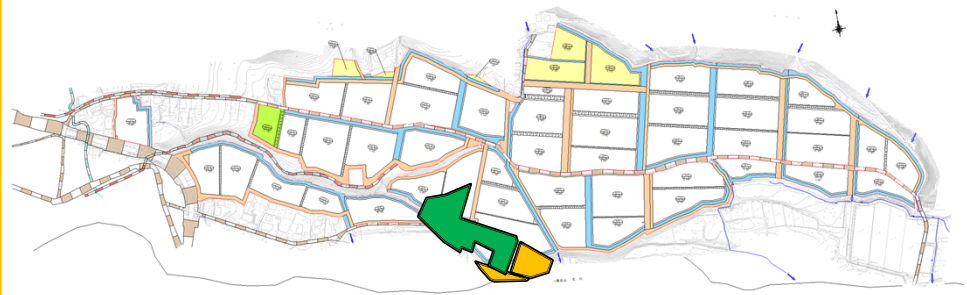
作付け計画・実績

- 【作付け計画(促進計画書)】
 - たまねぎ A= 3.0ha
 - さつまいも A= 2.0ha
- 【作付け実績(R4)】
 - ブロッコリー A= 1.3ha
 - さつまいも A= 1.0ha
- 【作付け計画(R5)】
 - ブロッコリー A= 1.1ha
 - さつまいも A= 0.5ha

取り組み内容

- 【担い手の状況】
 - ・令和3年10月、古関地区ほ場整備協議会役員10名で、「農事組合法人ふるせきファーム」を設立
- 【課題とその対応状況】
 - ・農業改良普及センターの指導により、導入作物をたまねぎからブロッコリーを変更し、令和2年度に15aを試作、翌年から輪換耕地にて80aに拡大
 - ・早晩性の異なる品種を導入して収穫期の分散を図り、地域の女性が参加した共同作業を実施
- 【今後の展開方向】
 - ・ブロッコリーの安定出荷の継続と、さつまいも栽培面積の拡大を目指す

地区位置図・実践エリア



- : ブロッコリー作付エリア
- : さつまいも作付エリア



さつまいも収穫状況



ブロッコリー収穫状況